

第11回斉藤仁旗争奪少年柔道大会開催要項

1. 目的 本大会は、青森県出身の故斉藤仁先生の輝かしい活躍を顕彰した大会です。
この大会を通じ各地の柔道を愛好する小学生の交流を促進し、少年柔道の振興及び底辺を拡大し、合わせて子供達の健全育成、体力の向上をはかり、柔道の普及発展に寄与することを目的とする。
2. 日時 令和4年3月27日(日) 審判、監督会議 8:30 ・ 開会式 9:00 ・ 試合開始 9:30
3. 会場 青森県武道館 青森県弘前市大字豊田2丁目3 TEL0172-26-2200 Fax0172-26-2206
4. 主催 全日本柔道少年団青森県連合団
5. 主管 剛柔舘藤田道場
6. 後援 青森県 青森県教育委員会 弘前市 弘前市教育委員会 青森県柔道連盟
(公財)青森県スポーツ協会 (公社)青森県柔道整復師会 津軽地区柔道連盟
東奥日報社 陸奥新報社 デーリー東北新聞社 NHK 青森放送局 RAB青森放送
ATV青森テレビ ABA青森朝日放送
7. 参加資格 (1)対象は小学生とし、現に各加盟団体の市町村の小学校に在籍している者であって、全日本柔道連盟に団体登録をしている「道場」、「クラブ」、「スポーツ少年団」単位とする。
(2)選手はスポーツ傷害保険に加入している事。
(3)選手は、出場するチームを通して全日本柔道連盟競技者登録をしている事、なお選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為が有った場合は、そのチームを失格とする。
(4)別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止配慮事項」の取り組みを理解し、保護者の同意を得た者。
(5)参加資格は、北海道函館市、東北6県に限ります。(感染拡大の状況によって変更あり)
8. 試合種目 団体戦
* 幼・1年生の部(先鋒、次鋒幼児、中堅、副将、大将1年生、各学年体重順の5名)
* 2・3年生の部(先鋒、次鋒2年生、中堅、副将、大将3年生、各学年体重順の5名)
* 4・5年生の部(先鋒、次鋒4生、中堅、副将、大将5年生、各学年体重順の5名)
1 学年下の者が上の学年へエントリーするも可。
各部何チームでも可、但し3名以上、その場合学年の後ろ詰めにする事。
- 個人戦
* 幼児男子の部(幼児男子による無差別級の試合)
* 幼児女子の部(幼児女子による無差別級の試合)
* 1年生男子の部(1年生男子による無差別級の試合)
* 1年生女子の部(1年生女子による無差別級の試合)
* 2年生男子の部(2年生男子による無差別級の試合)
* 2年生女子の部(2年生女子による無差別級の試合)
* 3年生男子の部(3年生男子による無差別級の試合)

- * 3年生女子の部(3年生女子による無差別級の試合)
 - * 4年生男子の部(4年生男子による無差別級の試合)
 - * 4年生女子の部(4年生女子による無差別級の試合)
 - * 5年生男子の部(5年生男子による無差別級の試合)
 - * 5年生女子の部(5年生女子による無差別級の試合)
 - * 6年生男子の部(6年生男子による無差別級の試合)
 - * 6年生女子の部(6年生女子による無差別級の試合)
- 各部何人でも可

9. 試合方法及びチーム間の勝敗は次による

団体戦

- (1) 試合は5人制の試合とし、予選リーグの後はトーナメント戦で行う。
- (2) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - (ア) 勝点数の多いチームを勝とする。
 - (イ) アで勝点数の同等の場合は「一本」による勝点数の多いチームを上位とする。
 - (ウ) イで同等の場合は「技あり」による勝点数の多いチームを上位とする。
 - (エ) ウで同等の場合は「僅差」による勝点数の多いチームを上位とする。
 - (オ) ウで同等の場合は「引き分けた者」の代表戦を1回行い、必ず勝敗を決する。
引き分けが複数の場合は主審が抽選で選ぶ。
- (3) その他の不測の事態が生じた場合の処置は、大会競技委員長に一任する。

個人戦

各部ともトーナメント戦で行う。

10. 試合審判規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による、その他は審判・代表者会議による当大会申し合わせ事項を適用する。
- (2) 試合時間は団体戦、個人戦とも2分で行い一審制で行う、幼・1年生の団体戦決勝、幼児男女、1年男女、2年男女の個人戦の決勝は2分、それ以外の団体戦、個人戦の決勝は3分で行う。
- (3) 団体戦の勝敗決定基準は「一本」・「技あり」・「僅差」の3種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。
※ただしIJF方式に則り、試合者Aが「指導」2を与えられたが、終盤に試合者Aが「技あり」を獲得すると技評価「技あり」が優先され、試合時間終了時点で試合者Aが勝ちとなる。
- (4) 個人戦の勝敗決定基準は「一本」・「技あり」・「僅差」3種類とする。
一審制の為、指導が1差以下の場合、主審とジュリーで競技し勝敗を決定する。

「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。(GS は行わない)

(5)本大会は、4間四方(32畳)の試合場で行う。

- 11.審判員 審判員は参加チームから1名以上とし、公認審判員の有資格者であること。
- 12.表彰 各部3位まで表彰する。優秀選手賞6名、更に最優秀選手賞(斉藤仁賞)を1名に贈る。
- 13.組合わせ 大会事務局においてコンピュータ抽選で決定する。
- 14.参加料 団体1チーム5,000円です、各団体3チーム参加の場合15,000円になります。
個人戦1人1,000円です。 振り込みをお願いします。
振込先 青森銀行 エルムの街支店 普通 3044233 剛柔館藤田道場 代表 藤田剛
- 16.申込締切 令和4年2月28日(月)までに必着。
申込方法は【全日本柔道少年団青森県連合団のHP から【ダウンロード】したデーター

【aomori-judo-union.jimdofree.com】



に記入後下記まで「E-mail」にて送付願います、又申込用紙の送付でも受け付けます。

【gojuuukan@email.plala.or.jp】

申込先 〒037-0036 青森県五所川原市中央6-36 TEL0173-34-7278 携帯 090-3122-1345
剛柔館藤田道場 宛

「新型コロナウイルス感染拡大防止配慮事項」

本大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため以下の様に行います。
感染が拡大することを防止する為以下の事項を厳守する事で安全に大会を運営したいと思います。何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

(1) 大会について

- ・密になることと時間短縮の為、予選リーグ無くしトーナメント戦で行う。
(選手・監督・コーチ・大会運営スタッフ以外の試合場への入場を認めない。)
- ・会場入場時には必ず検温を行い、各チームから入場者名簿2週間分の健康記録表をそれぞれ提出してもらう。
- ・会場への応援者の入場はコロナワクチンを2回以上接種した者とする。証明書を提示する事。

(2) 会場について

- ・会場への入場の際は手指の消毒を行う。
- ・会場の換気は試合場のドア開放で行う。
- ・選手席及び本部席においてもソーシャルでスタンスを確保する。
- ・昼食は全員一斉に前を向いて静かに取る。
- ・畳の消毒を一定時間ごとに行う。

(3) 運営について

- ・時間短縮の為に開会式は行わない。
- ・賞状伝達は、入賞者だけを集めて行う。
- ・感染防止対策に協力しないなど、大会事務局の指示に従わない者は退場を求める事が有る。

(4) 監督・選手について

- ・以下の場合には自主的に参加を見合わせるようにする。
 - ① 体調が良くない場合。
 - ② 同居家族や身近に感染が疑われる人がいる場合。
 - ③ 過去2週間以内に感染拡大地域への往来又は当該在住者と濃厚接触が有る場合。
- ・試合中またはウォーミングアップ時以外は、マスクの着用を徹底する。
- ・選手は自分用の赤帯を持参する。
- ・帰宅後はすみやかにシャワーや入浴をし、使用した物の洗濯や消毒を行う。

(5) その他

- ・消毒については、主催者側である程度用意しますが、各チームでも用意する。
- ・観客・応援者はマスクの着用を徹底する。
- ・選手は各自中履きを用意する事。
- ・選手以外の入場者は施設備え付けのスリッパを使用できる事とする。